

【「解答を書く」と「解答を伝える」の違いについて】

1. 『解答を書く』と『解答を伝える』の違いとは

『解答を書く』と『解答を伝える』の違いとは、「『試験官の存在を認識しないで解答を書く』と『試験官の存在を認識して解答を書く』の違い」です。ここで、試験官とは、受験生の書いた論文（解答）を読みそれを評価（採点）する人のことです。

1.1 「解答を書く」について

「解答を書く」は、問題を読み頭の中に浮かんだ解答をそのまま答案用紙に書く、あるいは、頭の中に浮かんだ解答を単に答案用紙に書き出すイメージです。つまり、「解答を書く」には、解答を書くとき試験官の存在が頭の中にない印象を受けます。

1.2 「解答を伝える」について

「伝える」には、「言葉などで知らせる。伝達する」という意味があります。つまり、「伝える」には、内容を話す人（話し手）とその内容を聞く人（聞き手）との関係があります。つまり、話し手と聞き手の関係があります。

「伝える」の意味から考えると「解答を伝える」とは、「試験官に解答を文字で知らせる（伝達する）」という意味に理解できます。つまり、「解答を伝える」は、解答を書くとき試験官の存在が頭の中にあります。

2. 記述式試験とは

記述式試験とは、受験生が書いた論文（解答）を試験官が読んでその内容を評価して採点する試験です。これを考えると記述式試験では「解答を書く」ではなく「解答を伝える」という意識を持つ必要があります。記述式試験には“試験官”が存在するからです。つまり、記述式試験には、解答を書く人（受験生）とその解答を読む人（試験官）との関係があるからです。これは、「伝える」での話し手と聞き手の関係と同じです。

さらに、「解答を伝える」ではなく「解答を“明確に”伝える」という意識を持つ必要があります。「解答を伝える」と「解答を“明確に”伝える」では各々の意味が異なるからです。

3. 「1分で理解できる解答」について

「1分で理解できる解答^{注1)・注2)}」とは、「試験官の存在を認識する」と「解答を“明確に”伝える」とを考えた解答の書き方です。「解答の要点と要点の説明を考え、解答の要点を解答の冒

頭に書き要点の説明をその後を書くこと」がこれらを考えた解答の書き方に対応します。

注 1) : 「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の『“1分で理解できる解答”の書き方』の概要」の資料を参照のこと

注 2) : 「動画でわかる 2025年度・技術士二次試験対策」の動画を参照のこと

以 上